

第59回 稲美町菊花展出品要項

1. 本菊花展に出品を希望するものは、必ず別紙の申し込み用紙により**令和8年9月18日（金）までに**事務局（兵庫県加古郡稲美町国安1286-1 稲美町立ふれあい交流館）に申し込むこと。
2. 出品物は、花壇（特作花壇、ミニ特作花壇、大菊花壇、盆栽花壇、小品盆栽花壇、小品盆栽鉢組、小品盆栽鉢個別、ミニ盆景、岩付け盆栽、大菊組、だるまづくり、大菊福助作り、懸崖鉢個別、ドーム菊花壇）とし、下記によること。

花 壇 出 品

- | | |
|-----------|--|
| ア 特 作 花 壇 | 間口 5.4m、奥行き 2.7m。懸崖その他の菊種の意匠花壇とする。 |
| イ ミニ特作花壇 | 間口 1.8m、奥行き 2.7m その他の規定はアに準ずる |
| ウ 大 菊 花 壇 | 三輪仕立を標準とし、間口 1.9m（3 鉢）、奥行き 2.7m（4 鉢）計 12 鉢
鉢は厚物系・管物系ともに 9 号鉢（鉢の内径 27cm）とし、
インバインドは必ず使用する。
厚物系・管物系を混合した場合は審査除外とする。
花壇最前列 105cm
花壇最後列 165cm |
| エ 盆 栽 花 壇 | 間口 1.8m、奥行きは 1.5m に配列した組出品とする。
（5 鉢 1 組又は 3 鉢 1 組） |
| オ 小品盆栽花壇 | 普通の盆栽菊を縮小したもので、鉢の一边は 12cm 以下とする。ただし、岩付、木付、寄せ植えはその限りではない。樹高は樹冠までを 15cm 以内に仕上げることが望ましい。鉢数は制限しない。間口 120cm、奥行 120cm とし、審査当日に各鉢に 2～3 輪開花しているのが望ましい。 |
| カ ドーム菊花壇 | 4 鉢一組を縦一列に配置して構成する。花壇構成は全種異品種・異色が望ましい。
鉢は 7 号鉢（鉢の内径 21cm 以下）を使用し、鉢は全て同材質・黒色とする。 |

鉢 組 ・ 鉢 個 別 出 品

- | | |
|-------------|--|
| キ 小品盆栽鉢組 | 横幅を 50cm 以内奥行きは 40cm 以内の花台上に、3 鉢の小品盆栽を組として配置する。なお、樹高は 15cm 以下が望ましい。 |
| ク 小品盆栽鉢個別 | 1 鉢出品とし、一人 3 点までで、岩付け、模様木、柳、懸崖、文人作り等とする。
樹高 17cm 以下、鉢の大きさは 1 辺の外径 12cm 以下（丸鉢は直径）とする。 |
| ケ ミ ニ 盆 景 | 菊盆景をもって飾り付けるものとし、規定のスペース（50cm×40cm）内に木枠を組んで飾り付けることとし、審査当日に 2～3 輪開花しているのが望ましい。 |
| コ 岩 付 け 盆 栽 | 単鉢とし、鉢の大きさは問わない。岩（木を含む）に根が密着していること及び審査当日に 2～3 輪開花していることが望ましい。 |
| サ 大 菊 組 | 大菊三輪仕立（4 鉢 1 組）最前列 105cm、最後列 165cm
鉢は厚物系・管物系ともに 9 号鉢（鉢の内径 27cm）とし、
インバインドは必ず使用する。
厚物系・管物系を混合した場合は審査除外とする。 |

- シ だるまづくり 異色 5 鉢を 1 組として縦 1 列に配置する。
花の高さは、最前列の花頂は問わないが、最後列 80cm 以下とする。なお、
70cm 以下が望ましい。鉢の大きさは直径 21cm（7 寸）を標準とし、
インバインドは必ず使用する。
厚物系・管物系を混合した場合は審査除外とする。
- ス 大菊福助作り
（1 本仕立） 異色 5 鉢を 1 組として縦 1 列に配置する。
花の高さは最前列の花頂は問わないが、最後列 50cm 以下とし、鉢の大きさは直径 15cm（5 寸）とする。
厚物系・管物系を混合した場合は審査除外とする。
- セ 懸崖鉢個別
（杉づくり含む） 1 鉢出品とし、数鉢で出品しても良い。鉢は直径 27cm（9 号）以下とする。

3. すべての出品物は、出品者自身が栽培したものに限る。

4. 出品の配置場所（花壇）は、主催者が決定するものとする。出品数により間口が多少変更することがあります。

5. 搬出入及び飾付等は出品者が行う。

6. 搬出入は募集要項に従って定められた期限までに完了する。
7. 会期中、老花、その他故障を生じたときは、出品者は主催者と協議のうえ取り替えることができる。

ただし、審査前の取り替えについては、10月30日（金）まで随時行うことができる。

8. 主催者は、出品物の管理に任ずる。ただし、不可抗力による損害に対しては責任を負わない。